
闘争委員長の決意

長野労働金庫労働組合
闘争委員長 松井 謙宏

私たち長野労金労組は 2014 春季生活闘争において、パート職員の時給改善の要求、及び正職員・準職員・パート職員の一時金の要求を掲げました。2つの要求を掲げた目的は、正職員と比較してパート職員の仕事に対する賃金対価が少ないためその改善を図ること、及び、正職員と準職員の一時金水準の是正、R - ONE システム移行における奮闘を評価してもらうこと、があります。その背景には、職場において、正職員と準職員、パート職員の仕事内容の違いがあまりなく、同一価値労働同一賃金の観点からすると現状がかけ離れていること。また、何と云っても、この一年は R - ONE 移行のために職員一丸となって奮闘したことがあげられます。労働組合としては、過大な要求を掲げたつもりはなく、職場の状況を検証し、実情に合わせて要求を組み立てたものであり、強い思いを持って 2014 春季生活闘争に向けて望みたいと考えています。